●各議員のQRコードを読み取ると、その議員の一般質問の様子が視聴できます。

Q&A 一般質問



鳥飼 由衣（とりかい ゆい） 議員 政志会

質問の様子はこちら！

さかいで大橋まつり 海上花火大会について

Q 今後、有料観覧席の席数を拡充する考えはないか。また、ふるさと納税の返礼品として活用する考えについて伺う。

A チケットの販売状況や利用者へのアンケート結果等を踏まえますと、有料観覧席について、今回の200席以上の需要を十分に見込めると考えています。

席数の拡充のためには、有料観覧席の設置場所やチケットの販売期間、販売方法等について見直す必要があることから、今後、坂出まつり協賛会にて協議の上、関係各所との調整を進めていきたいと存じます。

次に、ふるさと納税への活用については、本市では地域資源を生かした体験型返礼品の拡充を推進していることから、有料観覧席をふるさと納税の返礼品として加えることについて今後検討していきます。

（市長）

買物困難者への対応について

Q 移動販売を行っている事業者と提携し、市が広報を行うなど支援すべきと考えるがいかがか。

A 住民の高齢化や地元小売業の廃業などにより、食料品の購入などに不便を感じる方がいる中で、移動販売事業者に対する支援は重要であると考えています。

高松市で実施している移動販売事業者を支援する取組については、買物に不便を感じている方への支援サービスとして、大変興味深く感じています。

本市としても、まずは市内における移動販売や宅配等の実施状況の把握に努め、先進自治体の事例等も参考とする中で、広報活動など買物困難者への支援策の実施に向け検討していきます。

（健康福祉部長）

質問の主な項目
- 熱中症対策について
- ローカルゼブラ企業について



渡辺（わたなべ） 拓馬（たくま） 議員 国民民主坂出

質問の様子はこちら！

中学校部活動の地域展開について

Q 段階的に地域展開を進めている間、地域クラブ活動で努力する生徒が学校部活動で活動する生徒と同様に、その活動を評価される仕組みを構築すべきと考えるがいかがか。

A 生徒本人の意思や選択にかかわらず、活動する場所や実施主体の違いによって、生徒の努力や成果の取扱いに差が生じることは望ましくなく、公平性を確保することが重要であると考えています。

市教育委員会としましては、学校部活動と地域クラブ活動の双方について、生徒の活動状況や実績を適切に記録・証明できる仕組みを整えるとともに、県教育委員会と連携し、地域クラブ活動における生徒の努力や成果についても、学校部活動と同様に適切に取り扱われる仕組みの構築を求めていきます。

（教育長）

高齢者の転倒予防について

Q 「転倒予防月間」を設け、市民への啓発を強化してはどうかと考えるがいかがか。

A 「転倒予防月間」については、以前、検討した経緯もありますが、これまでは、転倒予防に関する個別の事業の展開にとどまっていました。

今年度から、10月10日の「転倒予防の日」の普及・啓発を図るため、チラシや市ホームページを通じて、転倒予防に関する情報を広く発信することとしています。

また、10月に実施する介護予防教室においても、転倒リスクに関する講話を取り入れるなど、重点的に啓発を行っていきたいと考えております。

「転倒予防月間」については、市民に広く周知・啓発できるよい機会とし、集中的に取り組む期間として位置づけることも踏まえ、既存の介護予防や健康づくりの施策との調整を図りながら実施していきます。

（市長）